

いわて復興だより

復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げます、この「つながり」を大切にしていきたいと思えます。

2 月 20 日からは「いわて国体冬季大会」スキー競技会も開催され、岩手県の冬の魅力を感じていただけたと思います。復興に向けて歩み続ける岩手の今を紹介します。

がんばろう！岩手 つなごう！岩手

第 101 号

平成 28 年 2 月 15 日号

三陸復興

広げよう 感動。
伝えよう 感謝。

「希望郷いわて国体冬季大会」がスタート！

盛岡市

平成 28 年 1 月 27 日（水）、第 71 回国民体育大会「2016 希望郷いわて国体冬季大会」スケート・アイスホッケー競技会の開始式が、岩手県営武道館（盛岡市）で開催され、全国 44 都道府県の選手や関係者等約 1,700 人が参加しました。

本県での国体開催は、本大会は 46 年ぶり、冬季大会は 11 年ぶり、本大会と冬季大会の全競技を開催する「完全国体」。

「広げよう 感動。伝えよう 感謝。」をスローガンに、スポーツを通じて感動を全国に広げ、東日本大震災津波の復興支援に対する感謝を伝えたいという想いを込めた国体の幕が開きました。

達増知事は、「復興は道半ばですが、震災後被災地で初めて開催される国体を通し、全国の皆様に頑張る岩手をご覧いただき、感謝の気持ちを伝えたい。」と大会の開始を宣言。

続いて、岩手県選手団の曾我こなみ選手が、「全国から集う仲間と共に磨き上げた力・技・心を存分に発揮し、たくさんの方々に勇気や希望、元気を届け、最後まで力いっぱい競技することを誓います。」と選手宣誓しました。

平成 28 年 2 月 20 日（土）からは、八幡平市でスキー競技会（スキー国体）が開催され、熱戦が繰り広げられます。



歓迎アトラクションで披露された郷土芸能「鹿踊」



大会に参加する岩手県選手団



大会の開始を宣言する達増知事

県立釜石高等学校が「第 88 回選抜高校野球大会」に選出

釜石市

平成 28 年 1 月 29 日（金）、「第 88 回選抜高校野球大会」の出場校を決める選考委員会（大阪市で開催）で、岩手県立釜石高等学校が 21 世紀枠で選出されました。

東日本大震災津波で甚大な被害を受けた釜石市。選出は、未だ応急仮設住宅での暮らしを余儀なくされている部員もいる中、困難を乗り越え

ながらの文武両道が評価されたもの。

同校の佐々木偉彦（たけひこ）監督は、「一戦一戦に集中し、歴史を創りたいと思っています。」と甲子園への想いを語りました。

3 月 11 日には「センバツ」の組み合わせ抽選が行われ、大会は 3 月 20 日に開幕し、夢に向かっての戦いが始まります。



センバツ出場を喜ぶ選手（写真提供：県立釜石高等学校）

大船渡市を舞台に NHK 特集ドラマ「恋の三陸 列車コンで行こう！」放送

三陸だより

NHK が被災地を応援する目的で制作した特集ドラマ「恋の三陸 列車コンで行こう！」が平成 28 年 2 月 27 日（土）にスタートします。

東日本大震災津波から 5 年の節目を迎える大船渡市を舞台に、恋に仕事に力強く生きる人々の姿を、ハートフルに、ロマンチックに、コミカルに描く、三陸の新たな魅力満載のドラマです。

放映スケジュール

NHK 総合 2016 年 2 月 27 日（土）放送スタート

毎週土曜 22:00 ~ 22:44 ※第 3 回のみ 22:15 ~ 22:59

出演

松下奈緒 / 安藤政信 / 山崎静代（南海キャンディーズ） / 黒島結菜 / 浅香航大 / 玄理 / YOUNG DAIS / 壇蜜 / 松岡茉優 / 塩見三省 / 村上弘明 / 松坂慶子 ほか



撮影風景（写真提供：NHK）

復興への支援に感謝

大槌町

「おおつち感謝祭」が開催されました

平成 28 年 1 月 30 日（土）、「おおつち感謝祭（主催：同実行委員会）」が、大槌町中央公民館（同町小鮎）で開催されました。

これは、東日本大震災津波から 5 年を迎えるのを前に、大槌町の復興に携わった支援者やボランティア、応援職員らに復興の状況を伝え、支援に対する恩返しをすることを目的に開催されたもので、当日は約 300 人が参加しました。

セレモニーでは、町民が結成した大槌ウィンドオーケストラによる「音返し（おんがえし）」のステージや郷土芸能「虎舞」の演舞が披露。また、支援者と町民によるメッセージ交換では、支援活動に携わった 3 人と町民 3 人がそれぞれの想いを語りました。

会場では、サケ雑炊やホタテの浜焼き等が振る舞われ、支援者と町民が交流を深めた一日となりました。



大槌ウィンドオーケストラによる演奏（写真提供：大槌町）

被災地・三陸の復興へ向け、多くの若者が情熱を注いでいます。連載「未来のさんりくびと」では、毎号、復興への熱い想いを秘めた若者を紹介していきます。第 52 回目は、金田 愛さんを紹介します。

PROFILE

大船渡市出身。

高校卒業後、短大進学のため北海道へ。北海道、東京で仕事をした後、平成 17 年に大船渡市に Uターン。平成 26 年、アローリンクス株式会社に入社し事務と Web 制作を担当。現在は、同社の仕事をする傍ら、大船渡市の街の魅力を伝える Web サイト「Ohfunako（オオフナコ）」のリーダーとして活躍中。

取材に基づいた大船渡市の魅力を発信

転勤等で大船渡市に移住した人が、新たに住む場所となった街の情報が少なく困っているという話を多く耳にした金田さんたち。平成 27 年 6 月、女性の目線で大船渡市の魅力を発信する Web サイト「Ohfunako（オオフナコ）」を立ち上げました。

「地元の人が当たり前と思っていることが、実

未来の

さんりく びと

アローリンクス株式会社
コンテンツ事業部主任
金田 愛（かねだ あい）さん



金田さんからのひと言：
オオフナコ みてください。

“あまちゃん”の企画列車

久慈市～田野畑村

「しおさいのメモリーズ号」、3 月でファイナル

平成 25 年に放送された NHK 連続テレビ小説「あまちゃん」を機に親しまれてきた、三陸鉄道北リアス線のイベント列車「しおさいのメモリーズ号」の運行が終了となります。

「しおさいのメモリーズ号」は、車両内外を「あまちゃん」にちなんだ仕様で装飾された企画列車。平成 27 年 4 月 5 日、全線運行再開 1 周年記念列車として初運行し、同年 12 月まで 4 回運行され、日本全国から多くの「あまちゃん」ファンが乗車しました。

同号の最終運行は、「『しおさいのメモリーズ号』さよならバージョン」と銘打って、平成 28 年 3 月 19 日（土）、三陸鉄道北リアス線の久慈駅から田野畑駅間を 2 往復します。

■募集人員：各回 30 名

■事前申し込みが必要

※2/19（金）～

■問い合わせ：

三陸鉄道久慈駅

☎0194-52-0177



運行を終了する「しおさいのメモリーズ号」
（写真提供：三陸鉄道株式会社）

は魅力ある場所であったりするので地元の発信にも繋がればいい。地元の人が自分の住む街に誇りを持ってもらいたい。」と金田さんはサイト立ち上げへの想いを話します。

金田さんらが実際に足を運び、体験や感想に基づいた「地域密着」の情報は、大船渡市の魅力を発信しています。

『被災した街』で終わることなく

「大船渡市を離れ、都会に住んでみて改めて地元の魅力を感じました。」と Uターンした大船渡市での暮らしに満足している金田さんは、「建物が建てばそれが復興なのかな、とも思いますが、復興への想いは人それぞれだと思います。自分の街が『被災した街』で終わることなく、復興に向けて自分で出来ることをやっていきたい。新しいものを取り入れるだけでなく、元々あるものを新しく変えていったり、みんなが関わり、取り組めるような街になってほしい。」と、今後の大船渡市への期待を話します。

岩手県の被害状況

平成 28 年 1 月 31 日現在

- ▶人的被害 死者（直接死）：4,672 人 行方不明者：1,124 人
- ▶建物被害（住家のみ、全半壊） 26,168 棟

被害状況等の詳細

義援金・寄付金の募集等

[いわて防災情報ポータル](#)

[検索](#)

皆様のご支援、ありがとうございます

平成 28 年 1 月 31 日現在

- ▶義援金受付状況 約 184 億 4,261 万円（92,726 件）
- ▶寄付金受付状況 約 197 億 2,817 万円（7,624 件）
- ▶いわての学び希望基金（※）受付状況 約 79 億 2,813 万円（17,177 件）

※被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。

ビジュアル豊富な【いわて復興だより [Web](#)】もご覧ください!!

<http://iwate-fukkoudayori.com>

いわて復興だより 第 101 号 平成 28 年 2 月 15 日号 企画・発行：岩手県復興局復興推進課 ☎ 019-629-6925

いわて復興だよりバックナンバーは

[いわて復興だより](#)

[検索](#)

編集・印刷：シナプス

【次回のいわて復興だよりについて】次回は 3 月 15 日号の発行を予定しています。